

笑顔とがんばりのまち

# おのまもち

## 議会だより

### 第1回定例会

- ◇平成23年度当初予算  
40億2,500万円
- ◇副町長に大江賢二氏が就任
- ◇2人の議員が意見書を発議
- ◇一般質問・4人の議員が登壇

(農林業対策・町道整備・難視聴地域対策・老人福祉など)



議会会期中に大震災が発生・作業服着用で議会が行われました(議会最終日)

# 第1回定例会

3月3日～15日

平成23年第1回定例会は、3月3日から15日まで13日間の会期で開かれました。

会議では、平成23年度当初予算、条例の制定や改正、副町長人事、議員提出議案など30議案を原案のとおり可決・同意しました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政全般にわたり町長の考えをいただきました。



▲第一回定例会

**【陳情の審査結果】**  
第1回定例会では、3件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

件名	陳情者	審査結果
別名に化けた外国人参政権への警戒を求める陳情	星野節子	趣旨採択
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会 議長:大和田勝司	採択
公契約に関する基本法の制定を求める意見書の提出について	日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会 議長:大和田勝司	趣旨採択

## 議員提出議案の審査結果

陳情を受け、議員提出議案により意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

議案名	提出者	審査結果	提出先
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	國分喜正議員	全員賛成で可決	内閣総理大臣 厚生労働大臣ほか
公契約に関する基本法の制定を求める意見書	宇佐見留男議員	全員賛成で可決	衆・参議院議長 内閣総理大臣

## 町民の「笑顔とがんばり」のために平成23年度予算0.75%増

### 平成23年度当初予算

会計区分	当初予算額(千円)	前年度との比較	
一般会計	4,025,000	30,000(↑増)	
国民健康保険	1,310,251	55,861(↓減)	
後期高齢者医療	103,440	4,961(↑増)	
介護保険	952,352	32,508(↑増)	
介護保険サービス事業	3,492	107(↑増)	
浄化槽整備推進事業	175,966	175,966(↑増)	
文化・体育振興基金	3,082	49(↓減)	
水道事業	収益的収入	149,367	4,354(↓減)
	収益的支出	147,916	4,089(↓減)
	資本的収入	4,645	1,404(↑増)
	資本的支出	93,583	8,039(↑増)

### 一般会計予算40億2,500万円

平成23年度当初予算は左の表のとおり、全員賛成で可決しました。

長引く不景気により税収入が落ち込んでいる中、限られた財源を子育て支援や雇用対策など重点事業に集中配分した予算となっています。

主な増加項目は、子ども医療費の助成、障害者福祉給付費、各特別会計への繰出金などとなっています。

なお、今年度より浄化槽整備推進事業特別会計が新たに設置されました。これは、町が実施する浄化槽整備推進事業に係る歳入と歳出を、一般会計と区別し特別会計として実施するものです。

### 人事案件 （小野町副町長の選任につき同意を求めることについて）



▲大江賢一氏

の、四月日より大江賢一氏が就任しました。

昨年の四月から空席となっていた副町長の選任について議会の同意を求められたも

〈全員同意〉

### 出産育児一時金を増額 （国民健康保険条例の一部改正）

これまで二十五万円であった出産育児一時金が、平成二十三年四月から三十九万円に増額されます。

〈全員賛成で可決〉

### 町長等の特別職の給料を減額

町の財政状況を考慮し、町長の給料については、三十パーセント、副町長教育長については十パーセント減額します。平成十七年から減額していましたが、さらに期間を平成二十五年三月まで延長するものです。

〈全員賛成で可決〉

	減額前月額	減額後月額
町長	790,000円	553,000円
副町長	632,000円	568,000円
教育長	596,000円	536,000円

### 平成23年3月補正予算

会計区分	補正額(千円)	予算総額	
一般会計	299,671	4,624,153	
特別会計	国民健康保険	▲ 3,844	1,288,645
	老人保険	▲ 76	28
	後期高齢者医療	▲ 2,502	98,265
	介護保険	23,731	964,676
	介護保険サービス事業	524	3,909
	文化・体育振興基金	267	3,398
水道事業	収益的収入	2,645	155,689
	収益的支出	▲ 463	151,141
	資本的収入	▲ 1,102	20,307
	資本的支出	0	106,868

平成23年3月の補正予算は右の表のとおり、全員賛成で可決しました。

収入では、税収の減額を見込みましたが、特別交付税や地域活性化のための交付金、安全・安心な学校づくり交付金などの収入が増額となりました。

支出では、一般会計でこれら交付金や交付税などに対応した小野中学校改築整備事業費、公立小野町地方総合病院組合への負担金などが増額となりました。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護サービス事業などの特別会計では、年間の受給見込み額を決算に向け調整しました。

### 意見書とは…

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる（地方自治法第99条）」とされています。民意を国政などに反映する手段として議会に認められている権限です。

# 一般質問

第1回定例会

## 宇佐見留男議員・國分喜正議員・遠藤英信議員・吉田鐵雄議員が町政全般について質問を行いました。



宇佐見留男 議員

### 農林業課題への町の取り組みについて

#### 農業者を取り巻く厳しい環境への対応策について

**問** 昨年よりの口蹄疫や鳥インフルエンザの蔓延、異常気象による農産物の品質・収量低下は、農業経営に大きな影響を与えています。また、農業者人口が高齢化減少する中、後継者の確保が非常に困難な状況にあります。町の基本産業である農業を振興させるため、農業後継者対策について、どのように考えているか。

**町長** この問題解決のため認定農業者制度が設けられており、認定者に対しては農業関係機関団

#### 意欲を持って農業経営に取り組みたい環境づくりを推進する

**町長** この問題解決のため認定農業者制度が設けられており、認定者に対しては農業関係機関団

体が技術支援や農地のあつせん等を行っています。また、町独自に就農初期の負担軽減のための支援金や経営規模拡大・経営合理化のための支援金交付を行うなど、将来にわたり意欲を持って農業経営に取り組みたい環境づくりを推進してきましたが、今後も引き続き、農業経営が魅力的なものとなるよう事業の推進を図りたいと考えています。

#### 環太平洋経済連携協定(TPP)について

**問** 政府では環太平洋経済連携協定(TPP)に向けて本格的に交渉に入ったと報道されています。この協定に参加すれば、

この協定に参加すれば、

#### 事業の追加や修正が必要な場合、必要な対応をしたい

**町長** 町の振興計画の基本目標は、住みよさを

#### 慎重な対応をするよう国・県に要請

**町長** グローバルな経済競争の中で国が確固たる地位を保ちながらも、農林水産業の持続的な発展を目指すとともに、食料の安定供給を確保する対策を講じた農業施策の展開が必要であり、国・県に慎重な対応をするよう要請してきました。

#### 今後の森林林業の情勢について

**問** 森林・林業再生プランが平成21年12月に策定され、21世紀日本の復活に向け

#### 郡山市と連携を図りながら積極的な要望活動を進めたい

**町長** 県道小野郡山線は、通勤・通学・通院など、町民の主要生活道路であり、産業・物流・観光ルートとして重要な役割を果たしてきた道路です。

#### 町道未舗装部分の整備について

**問** 住民が安全で活力に満ちた社会生活及び経済生活を実現するには生活の基盤となる道路の整備促進

#### メタボ検診について

**問** 平成二十年四月からスタートしたメタボ検診の目的は、健康な人に比べ発症の確率が三十倍も高いといわれている生活習慣病の発症を抑え、国民医療費全体の三分の一を占める

た21の国家戦略プロジェクトのついでに位置付けられております。現在、長期にわたる木材価格の低迷による森林所有者の意欲減退により、森林整備がされず放置されている現状です。

森林は水源涵養などの役割を果たしており、行政として森林整備の意欲を促す必要があると考えます。

#### 高齢者対策について

**問** 高齢化や人口減少などの影響で、身近な店の撤退または廃業が増えているなか、県内で民間や行政による買い物弱者支援を実施または計画している自治体は少なくとも27市町村に上っている。本町として、買

#### 買い物弱者に対する支援策を検討してまいりたい

**町長** 小野町でも少子高齢化や社会情勢の変化に伴い、交通弱者支援の必要性が今後増してくると思えます。各行政区や各種団体を通じて情報を集めるとも



▲水源の森林

今後、検討してまいりたい

**町長** 町からの補助金のかさ上げについて、事業主体と協議を重ね、森林整備が促進されるよう、今後検討してまいりたい。

郡山市と連携を図りながら積極的な要望活動を進めたい

**町長** 県道小野郡山線は、通勤・通学・通院など、町民の主要生活道路であり、産業・物流・観光ルートとして重要な役割を果たしてきた道路です。

#### 計画的に整備を進める

**町長** 現在、町道認定路線は二百六十三路線、実延長は三百一十七キロメートル、うち舗装済み延長は百六十七・三キロメートル、舗装率は七十四・八パーセントとなっております。

#### メタボ検診について

**問** 平成二十年四月からスタートしたメタボ検診の目的は、健康な人に比べ発症の確率が三十倍も高いといわれている生活習慣病の発症を抑え、国民医療費全体の三分の一を占める

とも言われる医療費を抑えるためと聞いています。検診を受けない個人を放置すると、各市町村や保険組合、共済組合にペナルティーが課されます。検診の周知徹底には、



國分喜正 議員

### 住みよさをランキングアップ

#### 町の課題について

**問** 昨年のある新聞によると、市を対象にした住みよさランキングで、本県の本宮市が北海道東北地区で二位、全国で二十六位の記事がありました。

この住みよさランキングについて、当町ではどのような認識をされておられるか。

#### 第四次振興計画との整合性について

**問** 第四次小野町振興計画が進行中ですが、住みよさランキングの「安心」、「利便」、「快適度」の三項目については、現在の計画を先行して行けばランキング上位を実現できるのか、あるいは具現化する



▲カーブや坂道の多い小野郡山線

行政として大変な努力を  
していると思うが、現在ま  
での周知具合はどのよう  
になっているか。

### 個別通知、 全世帯チラシ配布、 広報おのまち、 広報おのまち、 回覧等により周知

**町長** 個別通知を始めと  
し、全世帯へのチラシ配布、  
広報おのまちや回覧等によ  
り周知と受診勧奨を行い、  
また、各種健康教室、相談会  
場においても周知・勧奨を  
行ってきました。

集団検診は土日も行い、  
個別検診は平成20年度より  
各医療機関での検診も開始  
し、21年度から、受診期間の  
延長も行い、未受診者に対  
する電話による勧奨や医療  
機関での個別検診の案内  
等、再々行ってきました。今  
後もさらなる受診率向上に  
努めたいと考えています。

### 特定検診の目標値等を クリアできるのか どのくらい

**今後取り組むのか**  
**問** 五年経過後にはメタボ  
受診率が目標に決められた

保健室のエアコン設置  
については、地球温暖化の

## 情報通信網の整備促進について

### 小野町ホームページの 充実と広報・PRの 活用について

**問** 小野町のホームページは興味ある情報量が少ないように思われる。広報・PRの重要性を踏まえ、担当部署を立ち上げるとして、魅力的なホームページにしてはどうかと思う。ホームページの充実を図ること、広報・PRをどのように活用していくのか、伺いたい。

### 魅力あるホームページにするため充実を図りたい

**町長** ホームページについては、これまでも見やすさの工夫、迅速な更新、的確な情報量の提供などに心がけてきました。各課の掲載状況や更新状況の確認を今後さらに徹底し、魅力あるホームページにするよう充実を図りたいと考えています。

パーセント以上になっているのか、該当者の特定保健指導率は四十五%以上になっているのか、メタボ該当者及び予備軍を10%減らしているのかなどの目標があり、未達成の場合七十五歳以上の後期高齢者医療制度の補助金が10%程度の範囲で増減されると聞いているが、これらの条件をクリアするため、この様な手立てで今後取り組まれるのか。

### 受診しやすい環境づくりと 分かりやすい周知に努める

**町長** 平成二十一年度の受診率は計画目標の四十五%



遠藤英信 議員

## 猛暑対策について

### 猛暑による農産物への 影響について

**問** 二〇二〇年は記録的な猛暑であり、町民の方も熱中症や食欲不振、倦怠感な

に対し三十六・四%、特定保健指導実施率は目標の三十%に対し四十六・六%という結果でした。メタボ該当者・予備軍の減少率目標10%については、達成に向けてあらゆる機会をとらえて周知・勧奨・指導を行います。

今後は、現在までの取り組みのほかに、受診者の意向調査を行い、受診医療機関の拡充を図り、受診しやすい環境づくりと分かりやすい周知に努めたいと考えています。



遠藤英信 議員

## 小野町独自の 共聴アンテナ設置の 補助制度実施について

**問** 難視聴地域で受診することを経験したことと思います。また、農産物などにも多大な影響が出たのではないかと考えます。小野町ではどのような猛暑の影響

### 難視聴地域の 状況について

**問** 平成二十三年七月二十四日まで地上アナログ放送は終了し、地上デジタル放送に移行します。小野町において、地上デジタル放送の電波の届かない難視聴地域はどのようになっているか、伺います。

### 視聴できない世帯が 生じないよう対策を 講じたい

**町長** 町では関係機関と連携を図り、難視地区の調査、受診相談等に取り組みできました。現在、町独自の調査で把握している全ての放送局が映らない難視世帯は六十六世帯です。一部放送局が難視の世帯は調査中です。

アナログ放送終了時点で視聴できない世帯が生じないよう、引き続き関係機関と連携を図り対策を講じたいと考えています。

響があったか伺います。

### 野菜は収量が減少、 水稲は大きな影響なし

**町長** 野菜関係については収量が減少したが、単価の上昇により販売金額は前年を上回りました。

水稲は品質の低下が若干見られましたが、大きな影響はありませんでした。

### 勤労青少年ホーム等 公共施設の 冷暖房設備状況について

**問** ふるさと文化の館、図書館については空調設備の改修がされるということですが、小野町勤労青少年ホームをはじめ、他の公共施設の冷暖房設備の状況はどうなっているか。

### 勤労青少年ホームや 町民体育館の個室には 設置されている

**町長** 勤労青少年ホームや町民体育館の個室には冷暖房設備が設置されていますが、整備されていない施設については利用者のご意見や費用対効果を含め、効率的な対応を考えたいと思います。

### 暫定的措置として 衛星放送受信手続きを 進めている

**町長** 難視となる世帯については、暫定的措置として衛星放送の受信手続きを進めています。恒久的な対策としては、高性能アンテナ、共聴アンテナなど、どの対策が適しているのか、難視地区の受信状況や今後の動向を含め、調査検討したいと考えています。

## 芸術文化の振興について

### 町内の桜銘木の把握、 保存と活用について

**問** 平成十九年には東堂山の観音桜が、平成二十二年には高山桜が倒木し、貴重な財産が瞬時に失われましました。浮金の谷地の桜も折損の被害にあっています。

町内にはしだれ桜の銘木、山桜の古木が多く存在しています。小野町に存在する桜銘木をどのように把握しているのか。また保存と活用についてど



▲文化の館・図書館は、今年空調設備が改修されます

### 町内小中学校の エアコン設置状況に ついて

**問** 小野町の将来を担う児童生徒の猛暑に対する健康管理のため、各学校の教室に冷房施設を備えることが必要と思うが、設置状況はどうか。

大部分の教室には設置していない。  
保健室については今後検討したい

**教育長** 普通教室をはじめ、大部分の教室には設置していません。暑さ対策としては、気温・湿度に配慮した運動の実践やこまめな水分補給、健康観察などにより、熱中症などの防止を図っています。

### 無縁社会(薄れゆく絆)について

**問** 小野町の高齢化率と今後の推移について

少子高齢化が進み、家族や地域のつながりが薄



▲成長した観音桜のひこばえ

から自生したひこばえを採取し、県の林業研究センターにて養生をしているものが、大きいもので一五メートルほどに成長しています。

また、平成二十一年度から銘木の保存のため、小野町銘木後継樹育成事業に取り組み、高山しだれ桜や谷地の桜などについて、茨城県の森林総合研究所林木育苗センターに

また、公募により命名した「こまち桜回廊」などの桜並木を始め、桜フォトコンテストの実施、観光パノフレットへの掲載など、観光資源としての活用を図っており、今後とも保護・活用をするよう考えています。

れ、ひとり暮らしの高齢者世帯、核家族が進むなど社会の変化と深く関係して、地域社会で様々な問

題が起っています。

たった一人で亡くなり引き取り手のない無縁死の方が年間三万二千人にも上るとです。

小野町の高齢化率と今後の推移について伺います。

### 健康福祉課長

平成二十三年二月末現在、二十七・八パーセント

平成二十三年二月末現在の高齢化率は二十七・八パーセントです。

今後の推移については、推計によると二〇二五年に二十九・八パーセント、二〇二〇年に三十三・三パーセント、二〇二五年に三十六・六パーセントとなっております。

### 高齢者支援施策と地域コミュニティ事業について

無縁社会に対処するため、共に助け合う共助の精神と住民の協働による地域づくり、まちづくりを進め、地域コミュニティのあり方の構築が重要と思

います。県では「高齢者見守り等ネットワーク作り支援

事業」を展開し、高齢者の交流、支えあい事業を実施する市町村等に資金援助を行うとしています。

縁のある支えあう小野町を目指すため、どのような高齢者支援策をするのか。また、どのような「コミュニティ事業を考えているのか、伺います。

### 民生委員、社会福祉協議会等と連携し高齢者の安全安心な生活を確保

町長 民生委員による訪問・相談、地域包括支援セ

ンターによる相談や支援を始め、社会福祉協議会との連携により地域における見守りや声かけのネットワークづくりなど、高齢者の生活の安全確保を図ってきました。



吉田 鐵雄 議員

「コミュニティ事業についてですが、これから県の説明会が開催される「高齢者見守り等ネットワーク作り支援事業」の内容を調査し、高齢者と地域の関係がより層深まるよう、関係者と協議・連携していきたいと考えています。

### 農政について

米の戸別補償モデル事業交付金の現状について

町長 わが町ではどれくらい米の戸別補償がなされているか。過去の三年間の平均価格を下げた場合、その差額を補

十アール当たり万五千円

町長 当年産米の販売価格が過去三年間の平均価格を下回った場合、その差額を補

### 議長より町民の皆様へ

二月十一日に発生しました東日本大震災により被災されました皆様へ、改めて心よりお見舞い申し上げます。原子力発電所事故の長期化により農業、商工業、観光などへの風評被害が大変心配されています。

小野町議会としましては、風評被害や放射能の影響などに対しまして、引き続き迅速に対処して参る考えであります。

困難な時期ではありますが、健康にご留意され、ともに頑張りましょう。

小野町議長 大和田 昭

### 大和田議長が田村地方町村議会議長会会長に就任



▲大和田 昭氏

大和田議長が五月十二日付けで田村地方町村議会議長会会長に、五月十八日付けで田村地方市町議会議長会会長に、また六月六日付けで福島県町村議会議長会理事に、それぞれ就任しました。

### 議会活動日誌

#### 2月 February

- 9日 月例全員協議会 広報編集委員会
- 17日 田村広域行政組合定例会
- 18日 公共事業特別委員会正副委員長 トリアス(株)訪問
- 20日 B&G杯ビーチバレー行政区親善交流会
- 21日 郡山広域消防組合議会運営委員会・議会
- 22日 町村議会議長会第2回定期総会(福島市) 田村地方市町議議長会意見交換会(福島市)
- 23日 後期高齢者医療広域連合会(福島市)
- 24日 異業種交流会・工場連絡協議会と企業対策特別委員懇談会
- 25日 例月出納検査 第2回こまちふれあいフェスタ実行委員会
- 26日 73局光回線開通記念会
- 28日 地域医療調査特別委員会 議会運営委員会 議会全員協議会 議会改革特別委員会 教育環境対策特別委員会

#### 3月 March

- 1日 県立小野高等学校卒業式
- 3日 第1回定例会
- 10日 葉たばこ播種視察
- 11日 町内中学校卒業式
- 14日 小野町議会災害対策本部設置 小野町災害対策協議会
- 15日 月例全員協議会
- 16日 民主党幹事長に大震災に係る緊急要望書提出
- 17日 町内避難所を慰問
- 22日 総理大臣と県選出国會議員に大震災に係る緊急要望書提出 町内避難所を慰問
- 24日 町内被災箇所視察
- 26日 町内避難所へ手打ちそば 45食を提供
- 28日 災害対策本部を開催し農業被害対策を協議 町内被災箇所視察 例月出納検査



#### 4月 April

- 2日 町内保育園入園式
- 5日 町内小学校卒業式
- 6日 町内小・中学校入学式 議会運営委員会 議会全員協議会 第3回臨時会
- 7日 浮金つじ児童園入園式
- 8日 小野わかば幼稚園入園式
- 11日 議会全員協議会
- 13日 小野高等学校入学式
- 14日 行政区長会議
- 21日 郡山人権擁護委員協議会田村地区部会総会
- 22日 月例全員協議会 議会改革特別委員会 広報編集委員会(臨時号)
- 23日 第2回さくら回廊まつり
- 24日 小野町消防団春季検閲式
- 26日 小野町老人クラブ連合会通常総会 小野町納税貯蓄組合連合会総会
- 27日 例月出納検査 田村地方町村議会議長会 小野町観光協会総会
- 28日 民生委員協議会総会

んする変動部分の交付単価が十アール当たり一万五千円と決定され、今月中には交付されることとなっています。

### 生コン支給による生活道路の地元施工について

町長 生活道路について、生コン等原材料を支給して地元住民で施工し成果を上げている町村があるが、小野町では取り組む考えはあるか。

### 教育行政について

#### 子ども手当について

町長 子ども手当を給食費に回すとか色々取りざたされているが、基本的にわが町は現金で渡すのか、または給食費等に回すことと考えているのか。

#### 子ども手当法成立後、具体的に検討したい

町長 子ども手当から徴収できる費用につきましては、現在国において審議がなされています。子ども手当法が成立した時点で具体的な検討を行うよう担当課に指示をしたと思います。

大変有効な方法の一つ 町長 生コンやし字溝等の建設資材を支給して地域の方々の力を借りて整備するというのは、大変有効な方法の一つと考えます。事業の実施については、行政区長会や関係する団体と協議し、今後の方向づけを考えていきたいと考えています。

#### 中学校の統合について

町長 前の議会でも町長は、小野中学校の新校舎が出来上がる時点で浮金中学校を統合するというように答弁されているが、中学校の完成と同時に統合が間に合うのか。

#### 平成二十四年四月からの統合を念頭に地域の方々と協議を進めている

町長 平成十八年に教育委員会策定された小野町教育環境整備の基本方針において、町内の二つの中学校を統合し一つの中学校とするが示されており、その

の時期については小野中学校改築整備の完了時期を目標として掲げております。小野中学校改築整備は平成二十三年度内の完了を目指していることから、平成二十四年四月からの統合を念頭に地域の方々と協議を進めてきましたが、現時点で統合に対し様々なご意見があるようです。

統合再編にあたっては、何より地域の皆様との話し合い・理解が重要ですので、引き続き話し合いを継続していくと考えております。

#### 統合小学校の具体的な計画について

町長 小学校の統合再編について、場所や規模の構想があったら伺いたい。

#### 現在、煮詰まった段階ではない

町長 先ほどの「小野町教育環境整備の基本方針」において、十年を目途に小野町の小学校を一つに統合するとの基本方針ですが、小学校の場所云々については、現在の所、煮詰まった段階ではありません。

# 笑顔でがんばってます!

このページでは、笑顔でがんばる町民のみなさんを紹介します。今回は、「食生活改善推進員会」を紹介します。インタビューには会長の宗像博子さん(本町)が応えてくれました。



▲会長の宗像博子さん

## どのような活動をしていますか?

離乳食教室、おやつ教室、老人栄養教室、在宅介護食の講師や実習、学童保育のおやつ作りなど、様々な活動を行っています。



▲飯豊ひまわり保育園にて



▲食生活改善推進員の皆さん

## やって良かったと思ったことは?

何よりも会員の和により楽しく活動していることです。また、会員の皆がやりがいをもって取り組めるよう、おやつ教室は誰々が担当、老人栄養教室は誰々が担当というように、より多くの会員に各々役割を持ってもらうなど工夫をして活動してきました。

## 今後の活動の計画や目標は?

今年は大震災の影響により、地元産野菜等の風評被害等が心配されているので、地元の野菜等を使用して地産地消を推進する活動を実施したいと思います。



## 最後にひとこと

小野町の伝統的な食文化を残しながら、その食文化を基にして一歩でも二歩でも前進し、生活習慣病を防ぐ食生活の推進活動を進めたいと思います。

(インタビューは、議会広報編集委員会が行いました。)

## •あしがき•

この度の東日本大震災により、被災されました方々に対し御見舞を申し上げますと共に、おなくなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

三月十一日、予算案審査中に大地震が発生し、庁舎もかなり大きく揺れ、ロッカーの上の物が落ちたり、ガラスが割れ落ちたりしましたが、幸いにも建物は多少の被害にとどまりました。町民皆さまも、屋根瓦、壁等が落ちたり、墓石が倒壊したりと、被害にあわれたと存じます。

福島第一原発事故による風評被害等、農畜産にとどまらず、商工業にも影響は大きくあらわれております。議会としては、災害対策本部を設置して対策にあたって参りましたが、これからも町民皆さまと共に、対策、復興に邁進する所存であります。

町民皆さまのお声をお寄せ下さい。

議会広報編集委員

水野正廣